

資料

災害時に役立つ地域資源の例

防災を目的に予め準備された「防災資源」以外にも、災害時に役立つ地域資源があります。災害時に地域資源を活用できる関係づくりも大切な地域防災活動の一つです。

資源	説明
専門的な能力を有する人材	住民や地域で働いている方々の中には、元看護師で現在は専業主婦、元建設会社に勤務していて重機の操作や建築の知識がある方など、災害時の対応や予防活動にも知恵や力を出していただけるさまざまな専門知識を持っている人材がいるかもしれません。
災害時に役立つ物資や資機材	各家庭にもキャンプ用の発電機やカセットコンロが余分にあるかもしれません。被害が少ない家からは毛布や布団などを持ち寄れます。農家のトラクターやリヤカー、軽トラックなどが物資の運搬や要援護者の移送に役立ちます。災害時に活用できる関係をつくることが大切です。
各種福祉施設	地域には、特別養護老人ホームやデイケアセンターなどの高齢介護のための福祉施設があり、災害時には、要援護者を緊急に受け入れてもらえる場合があります。施設によってはあらかじめ福祉避難所として指定されているところもあります。
事業所や商店など	地域にある工務店には、災害時の人命救助に活用できる重機や工具などの資機材や人材などがあるかもしれません。また、商店の在庫などの食料品や飲料なども、避難所生活のために災害時に優先的に販売または無償で提供いただけることもあります。行政があらかじめ本社や工場などと協定を結んでいる場合もありますので、事前に確認することが必要です。
プール・池・川・井戸など	消火のための水源としても、またトイレなどの下水処理のための生活用水としても利用されることがあります。運び車両や輸送のための容器なども合わせて準備することが必要です。また、個人所有の井戸や湧き水など、災害時の飲料として地域で利用できる資源も確認しておきましょう。
コミュニティ FM 局や携帯電話	災害時にきめの細かい地域情報を出すことで、被災者の支援を行います。行政からの災害広報の伝達に加え、携帯メールを用いて、顔の見える住民から信頼できる情報が提供され重要な情報源となります。災害時は電話の通話が制限されますが、携帯のメールが利用できる場合もあります。車のラジオも災害時に情報ステーションとなります。
地域のポータルサイトや SNS	インターネット上の地域情報の共有の場として、日ごろから使用している地域ポータルサイトや地域 SNS を用いて、地域の内外と連絡を取り合ったり、必要な支援をお願いしたり、災害ボランティアへの情報提供を行ったりすることができます。平時から市民レポーターなど信頼できる方々の情報提供が可能なネットワークづくりが有効です。
農地・農場	空地として避難者を受け入れるだけでなく、食糧や資源の供給源としての役割も期待されます。市町村によっては、生産緑地や市民農園を広域避難場所として利用できるように協定を結んでいる場合もあります。
さまざまなサークル	地域にあるさまざまなサークルが、人と人をつなぎ、支援の輪を形成する可能性があります。スポーツ少年団などの連絡網やシルバークラブ、福祉ボランティアのサークルなどのネットワークを活かして、災害時に要援護者等の心のケアを行うなども地域の課題になります。